

## マルチステップ一致構成

インポートプロファイルに必要な既存のユーザーロール ([インポートプロファイルの管理](#)を参照) は、多段階一致方式を構成するのに十分なものです。

3月の新機能! メタデータインポートを通じてタイトルをAlmaに読み込む場合、インポートされたレコードと教育機関のカタログに既に存在するレコードとの間の一致は、関連するインポートプロファイルで選択した一致ルーチンに基づいて実行されます。さまざまなルーチンがさまざまな状況に適している可能性があるため、最も適切な一致ルーチンを選択するのが困難な場合があります。

マルチステップ一致構成マッピングテーブル ([\[構成\] > \[リソース管理\] > \[一般\] > \[マルチステップ一致構成\]](#)) を使用すると、既存のマッチメソッドのオプションリストから構成されるマルチステップ一致ルーチンを定義し、テーブルで定義した順序で実行させることができるようになります。

一致プロセスは次のとおりです。

1. Almaは、最初の一致方法を使用してレコードの一致を試みます。
2. 一致が見つかった場合、レコードは一致と見なされます。
3. Almaは次のレコードとのマッチングを試みます。

## マルチステップ一致方法を使用する

マルチステップ一致メソッドルーチンは、Alma内の以下の場所で使用できます。

- **メタデータエディタ**  
[その他の設定の構成 \(リソース管理\) の 'non\\_serial\\_match\\_profile' と 'serial\\_match\\_profile' を参照してください。](#)
- **プロファイルのインポート** - 次のプロファイルタイプで使用できます。
  - 新規発注
  - リポジトリ
  - デジタル - 「024からOriginalSystemIdまたはMMSIdへの一致メソッド」を除くすべての一致メソッドを構成できます。

「[一致方法 - 説明と例](#)」を参照してください。

Import Profile Details

Profile Details | Normalization & Validation | Match Profile | Set Management Tags | Inventory Information

Match Profile

Match by Serial / Non Serial  Yes  No

Serial match method

Non Serial match method

## マルチステップ一致構成

マルチステップ一致構成マッピングテーブル（[\[構成\]>\[リソース管理\]>\[一般\]>\[マルチステップ一致構成\]](#)）は、Almaにあらかじめ定義されている全てのマッチング方法を提示します。各ファミリー（MARC21、UNIMARC、CNMARC）ごとに15のマッチメソッドが定義されており、合計45のマッチメソッドが存在します。このうち、逐次のリソースタイプは5つ、非逐次のリソースタイプは5つ、リソースタイプに基づくマッチングが行われない場合（すべて）は5つあります。

デフォルトでは、すべての行は無効になっています。

機関がこのテーブルのどの行も有効にしなかった場合、Almaは「マルチステップ一致構成」オプションを選択したときに、インポートしたタイトルと既存のタイトルの間のマッチングを検索しないようにします。

Enabled	Family	Resource Type	Match Routine	System Identifier Prefix	Updated By	Last Updated
<input checked="" type="checkbox"/>	MARC21	Non Serial	Unique OCLC Identifier Mat		ext_impj	26/01/2022
<input checked="" type="checkbox"/>	MARC21	Non Serial	ISBN Match Method		ext_impj	26/01/2022
<input checked="" type="checkbox"/>	MARC21	Non Serial	Title Statement Extended F		ext_impj	26/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	Non Serial	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	Non Serial	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	All	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	All	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	All	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	All	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	MARC21	All	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	UNIMARC	Serial	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	UNIMARC	Serial	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022
<input type="checkbox"/>	UNIMARC	Serial	024 / 035 Match Method		ext_impj	24/01/2022

マルチ一致のルーチンを選択するには：

1. 有効コントロールをトグルして、目的のルーチンを有効にします。
2. 一致ルーチンの列で、ドロップダウンから希望の一致方法を選択します。  
各一致方法の説明については、[一致方法 - 説明と例](#)を参照してください。
3. 一致方法「035（他のシステム識別子）一致方法」を選択した場合、システム識別子プレフィックスの列に任意でテキストを入力します。このオプションにより、照合処理がより詳細になります。このパラメータを使用すると、入力したプレフィックスに基づいて照合プロセスをフィルターする035プレフィックスを指定できます。  
他の一致メソッドの場合、この列には何も入力しないでください。
4. 保存を選択して、変更を保存します。

コンソーシアムでは、セントラルオフィスは、[\[ネットワークでテーブルを管理\]](#)オプションを使用して、設定されたマルチステップ一致設定テーブルをコンソーシアムのすべてのメンバーと共有できます（[ネットワークゾーンで設定を集中管理する](#)を参照してください）。

## ネットワークゾーンにおけるマルチステップ一致構成

メンバー機関からネットワークにプロファイルをインポートする場合、マルチステップマッチメソッドルーチンの構成はメンバーから取得されます。